

結成二五周年記念　苦闘の歴史

喜劇映画研究会代表
新野 敏也

えつ、そんなのあつたの？という会のア

年の映画史の幹に自分の「ほど寄生して、今なお胞子を放つマタンゴ」「喜劇映画研究会」の活動を誌面占拠で吐露します。ゾヽツとする内容ですので温かい心でお読みください。

れます。

さて、ではエリートの兄（原さん）の自宅に土足踏破を試みる不逞の弟（ウチ）の素行とは？

で製造原価が定価より高い怪作に仕上がる
感激です！

知られる谷川豊作氏（父親で詩人の谷川俊太郎氏との朗読コンサートで全国を巡演

84にケラリーノ氏より会を奪取した時までは、マニア垂涎の幻作品を自主上映して簡単なパンフレットで作品解説等を行って

「」の書籍発刊を機に我が会は一応、古曲喜劇中興の祖という評価を頂戴して、劇場の傍らで缶ジュースを飲んでいた筈のオーナー

中)が最強の楽団を率いてドタバタ喜劇に挑みます。と、言っても谷川氏が道化を演じるのではありませんが。無声喜劇固有の

おはすは我が会の成り立ちです。学生時代の原健太郎さんも所属していた喜劇研究会という非営利のアマチュアお笑い研究団体がありました。ここは落語、漫才、演劇や

映画、文学、漫画までの知覚として笑う行為に繋がる全てを研究対象としたスゴイ会でした。この中で最年少メンバーだった劇作家ケラリーノ・サンドロヴィッチ（当時

性客にも「これぞ喜劇」と知つて貰う店内改裝を施しました。この時に断行したのが、92に刊行の知る人ぞ知る狂氣の一冊「サイレント・コメディ全史」です。

現在も資料調査はいすわの改語は向けて
継続しておりますが、我が会は多士済々（悪
く言えば魑魅魍魎狐狸野干の類い）なメン
バーによって、古典や喜劇に固執しない、

めね!と直貢じでおにあす
話じい間に先は
アーネ・フランセ文化センター
03(3291)4339

は中学3年の小林一三(一)の趣味と小遣い稼ぎを兼ねて行っていた自主上映が喜劇映画研究会となります。最初の興行が76とされ

出版のテーマは、会のコンテンツと地歩は絶対的なモノに、未整理の古典情報を完結させて、一過性のリバイバル人気とならない

活動（運動）の方法に重心を傾けたサークルになりました。但し、研究資料として集めた映画（一応は欧米の喜劇を体系的に網羅している）の管理本部から、会は古典

田祭休館 13:00～20:00 です。
近前売つはチケッスピョ、フト // コー
マー^ト(ハマ // ネシト) に発売中です。

か和の参画した頃からが現在の喜劇映画研究会となりますので、実は看板だけが風雪に耐えてきたところが本当でしょ。」

米紙纂をと暴等に出ました
敢えて無声映画を選定した理由は 映像の技術と演出の基本にあたる「喜劇」は

うです。一介の社会人が本業の間隙を縫つて調査

会ならではの映像資料を引っ下げて、会場が怒りの炎と荒寥感漂つ爆心地みたいにな

会の運営方針としては当初から変わらず、

映画史を継ぐる唯一のジャンルとして映

や作品復刻を敢行し、給金と体力をひたすら消耗する、ピューリタノ放送会員には主

非営利のサークル活動を貢いでおります。
いうなれば我が会と原さんの東京コメディ
俱楽部は喜劇研究会の嫡流で、同じDNA
から性格の異なる兄弟に育つたとも考えら

映画発明当初から存在する 今や絶滅した表現（正当な継承者がいない） 時代的に特定できる（映画発明からトーキー普及までに限定可能）となります。これに第一次世

ら消耗する。ヒート・バラン教徒みたいな生活状況です。まあ、ここまできたら一二五周年と言わず、千年祭を開催するまで頑張りますが。

と
世紀末にお駄たせてしましましたが
んな会の今後をほんのちょっぴり見続けて
頂ければ嬉しい限りです。宜しくお願ひし
ます！

界大戦までのヨーロッパ勃興と、世界恐慌（トーキー普及）までのアメリカ主導の歴史と、訳のわからない独り言のまま最新活動の案内までさせて頂いちやいます。